

### 3. 国際協力

2017年度末時点で、海外の20機関と放射光科学及びXFELに係る協定・覚書を締結し、放射光研究の協力、

研究所間の情報交換、研究者の交流等を実施している。具体的な締結先を表1に示す。

表1 SPring-8/SACLAに係る国際協力協定・覚書

国名	機関名	締結年	終了年
アメリカ	アルゴンヌ国立研究所 (APS)* <sup>1</sup>	1993	無期限
フランス	欧州放射光施設 (ESRF)* <sup>1</sup>		
アメリカ	アルゴンヌ国立研究所 (APS)	2006	2021
	ブルックヘブン国立研究所 (BNL)・国立放射光源 II	2009	2021
	ローレンスバークレー国立研究所	2004	無期限
カナダ	カナダ放射光施設 (CLS)	2012	2018
イギリス	ダイヤモンド放射光施設	2006	2021
	リバプール大学	2009	2019
ウクライナ	ウクライナ国立キエフ工科大学	2013	2019
スイス	ポール・シェラー研究所 (PSI)	2006	2018
スウェーデン	ルント大学・MAX IV 研究所	2014	2019
ドイツ	ドイツ電子シンクロトロン研究所 (DESY) (ヘルムホルツ協会)	2007	2019
	欧州XFEL施設	2015	2020
フランス	欧州放射光施設 (ESRF)	2006	2021
	SOLEIL放射光施設	2013	2021
オーストラリア	オーストラリア放射光施設 (Australian Synchrotron)	2008	2018
	オーストラリア原子力科学技術機構	2011	2019
韓国	浦項加速器研究所 (PAL)	2005	2020
タイ	国立放射光センター	2006	2021
台湾	国立放射光研究センター	2008	2018
中国	中国科学院・応用物理研究所 (上海放射光源) (SINAP)	2011	2021

\*1：SPring-8, APS, ESRFの3者による協定

また、2017年度には以下の機関と協力協定を延長した。

アルゴンヌ国立研究所 (Advanced Photon Source / アメリカ)

放射光科学研究に関する理研、JASRIとの3者覚書が

2018年3月で満了となり、締結期間を2021年3月まで3年間延長した。

理研 播磨事業所 放射光科学研究推進室